受賞4作品を表彰

熊日出版文化賞の贈呈式

第40回熊日出版文化賞の贈呈式が25日、熊本市中央区のホテル日航熊本であり、受賞した4作品の編著者らを表彰した。

熊日出版文化賞の表彰を受けた（左から）夏目漱石記念年100人委員会委員長の小野友道さん、熊本大永青文庫研究センター長の稲葉継陽さん、県文化協会名誉会長の吉丸良治さん、マイブック賞の藤崎節子さん
＝25日、熊本市中央区のホテル日航熊本（小野宏明）

出版文化賞は「漱石の記憶　夏目漱石生誕150年　没後100年」（夏目漱石記念年100人委員会編、熊日出版）、「細川忠利ポスト戦国世代の国づくり」（稲葉継陽著、吉川弘文館）、「花畑屋敷四百年と参勤交代」（吉丸良治編著、熊日出版）が受賞した。自費出版を対象とするマイブック賞は「Heritage　先祖からの贈り物　藤崎節子キルト作品集」（藤崎節子著、熊日出版）が選ばれた。

河村邦比児・熊日社長が受賞者に表彰状と副賞を手渡した後、選考委員を代表して幸田亮一・熊本学園大学長が選考経過について報告した。

受賞者あいさつでは、夏目漱石記念年100人委員会の小野友道委員長が「3年余にわたる会の集大成。若い世代にも関心を持ってほしい」、熊本大永青文庫研究センター長の稲葉継陽教授が「長期平和を築いた江戸社会を、統治者・忠利を通して描きたかった」、県文化協会名誉会長の吉丸良治さんが「熊本の中心市街地の歴史を参勤交代とともに分かりやすく整理できた」と述べた。キルト作家の藤崎節子さんは「消えゆく着物を作品として残せた。ライターとカメラマンに感謝したい」と語った。

熊日出版文化賞は県内個人・団体の著作が対象で、今回は2018年に刊行された約100点の中から選んだ。（魚住有佳）